

原価計算	履修年次	2	
	単位	2	
本村 秀樹	配当期	前	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>本授業では、はじめに総論として原価計算の意義と原価概念を理解し、その後具体的な原価計算プロセスを学ぶ。原価計算プロセスは①費目別計算、②部門別計算、③製品別計算、の3段階に区分される。まず、①費目別計算の材料費の計算、労務費の計算、経費の計算を学習する。これは発生した原価を形態別に分類・集計する手続きで原価計算のスタートにあたる重要な手続きである。次に③製品別計算の1つである個別原価計算のフレームワークを使い製造間接費の計算について学ぶ。製造間接費の計算は予定配賦や配賦差異など、原価計算を理解するうえで重要な概念が多く登場する。その後②部門別計算を学び、②の部門別計算と③の製品別計算をあわせて部門別個別原価計算を学ぶ。次に③製品別計算の2つ目である総合原価計算を学ぶ。さらに原価管理の観点から標準原価計算を学び、原価計算の主目的である財務諸表作成のために必要なデータを提供する役割についての学習が終わる。加えて、原価計算のもう一つの目的である経営管理目的の観点から直接原価計算とCVP分析についても学ぶ。授業では理論面の解説だけでなく、理解のコツについても伝授する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・原価の概念を理解し、財務諸表作成および経営管理のために必要な具体的な原価の計算ができる。 ・企業の製造活動で発生する原価を具体的にイメージできる。 ・日商簿記検定試験2級水準の工業簿記の計算問題を解答できる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、小テスト、提出課題、定期試験について以下の割合で評価する。なお、全出席、授業外学習と課題の提出および、定期試験の受験は成績評価の前提条件とする。			
週	授業項目	週	授業項目
1	・ガイダンス ・原価概念と原価計算の全体像	8	総合原価計算① :単純総合原価計算
2	材料費の計算	9	総合原価計算② :工程別総合原価計算
3	労務費の計算	10	総合原価計算③ :組別総合原価計算と等級別総合原価計算
4	経費の計算 個別原価計算①	11	標準原価計算①
5	個別原価計算②	12	標準原価計算②
6	部門別個別原価計算①	13	直接原価計算とCVP分析
7	部門別個別原価計算②	14	全体のまとめ